

# 競技注意事項

## 1 競技規則

本大会は2024年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会競技注意事項によって実施する。  
なお、本大会は広告規定を適用し、WRK競技会に指定する。

## 2 練習について

- (1) 練習については、役員（練習会場係）の指示に従い、原則補助競技場およびバックスタンド下雨天練習場を使用すること。なお練習会場には、選手・指導者以外の入場は認めない。
- (2) 本競技場での練習については、競技開始30分前まで認める。
- (3) 本競技場・補助競技場ともに逆走は禁止する。
- (4) 投擲の練習については、指導者が付き添いのもと許可する。
- (5)トラックにミニハードル等、私物の道具を置くことは禁止する。
- (6) 練習等でトラックにテープ等を貼った場合、練習後には必ず回収すること。
- (7) 棒高跳については、競技時間を除きメイン競技場競技場所での練習を認める。  
(競技者・指導者以外の入場は認めない)

## 3 招集について

- (1) 招集は、本競技場第3コーナー裏に設けた招集所で行う。  
なお、棒高跳については、競技場所現地にて行う。
- (2) 招集時間は、開始・完了ともに、競技順序に記載された時刻で行う。
- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものと出場を認めない。
- (4) 招集の方法については、以下の通りとする。
  - ①招集開始時刻に招集場所にて競技者本人が競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス・競技用シューズのスパイクピン・靴底の厚さ・ウェアや所持物の商標の点検を受ける。
  - ②トラック競技出場者は腰ナンバーカードを受け取る。（リレー競技は第4走者のみ）  
受け取った腰ナンバーカードは、競技終了後に返却すること
  - ③携帯電話、ミュージックプレイヤー、および外部との通信機能のある腕時計等、競技規則TR6.3.2に関わる電子機器を持ち込んではいけない。
  - ④代理での点呼は認めない。2種目同時に出場する競技者は、招集開始時刻前までに競技者係へ申告すること。トラック競技が先に行われる場合は、トラック競技終了後フィールド競技場所へ移動すること。フィールド競技が先に行われる場合は、フィールド審判員に申告し、指示に従い、トラック競技へ出場すること。
  - ⑤各種目を棄権する場合は、招集開始時刻前に競技者係へ申告すること。
  - ⑥混成競技の実施日最初の種目については、招集所にて競技順序に示した招集時間で招集を行う。招集完了時刻に遅れた場合は、棄権とみなす。次種目以降については、混成競技役員の指示に従い競技場所に集合すること。競技開始時刻に遅れた場合は、棄権とみなす。
- (5) TR4.4(参加の拒否)は適用しない。欠場については、エントリーした各種目について申告すること。

## 4 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、2024年度鹿児島陸協登録時に配布されたものを使用すること。
- (2) 跳躍種目に出場する選手は、胸部・背部どちらか一方だけ取り付ければよい。
- (3) アスリートビブスを取り付ける安全ピンについては、各自で用意すること。

## 5 競技場の入退場について

- (1) 招集所から競技場への入場は、競技者係の指示に従い、決められたルートで移動すること。
- (2) 競技終了後は、役員の指示に従い、場外へ退場する。（本部席前は通行禁止）
- (3) 競技者以外（付き添い等）は、招集所以降、競技場所へは立ち入る事ができない。

## 6 番組編成について

- (1) トラック競技については、プログラム記載の組・レーン順、フィールド競技の試技順については、プログラム記載の番号順とする。
- (2) 予選を行った後の決勝種目については、予選の結果をもとに、競技規則に基づき番組編成を行いレーンを決定する。
- (3) トラック競技において、次ラウンドへの進出者が1/100秒単位で同記録があった場合、1/1000秒単位で判定を行い、進出者を決定する。タイム差が無い場合は抽選を行う。
- (4) 抽選が必要な場合は、アナウンスにより競技場内に連絡し、競技者本人もしくは、代理人にて抽選を行う。アナウンス後20分を経過しても該当者が現れない場合は、権利を放棄したものとみなす。また、該当者が一人も現れない場合は、主催者が代行して抽選を行う。

## 7 競技について

### (1) トラック競技について

- ①トラック競技の計時は、すべて写真判定装置で行う。
- ②レーンで行う競技は、欠場者のレーンを空ける。また安全対策の為、フィニッシュ後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を通過する。
- ③不正スタートを行った競技者は失格とする。
- ④スタート時、他の競技者の不正スタートを生じさせた場合や、動作等によりスタートのやり直しの原因を作った場合、またスタート時の動作等に遅延行為が見られる場合などはイエローカード提示され警告となる。警告が2回累積されると、退場となり以降の競技に出場ができなくなる。
- ⑤100m, 200m, 100mH/100mYH については、風向等グラウンドコンディションの状況により、バックストレートで競技を行う場合がある。その際もプログラム記載のレーンでレースを行う。

### (2) フィールド競技について

- ①フィールド競技の測定については、一部光波測定器を使用する。
- ②跳躍競技（走高跳以外）の競技者は、助走路の外側に主催者が準備したマーカーを2個まで設置することができる。また投擲競技は、同じくマーカーを1個だけ使用できる。走高跳に出場する競技者は、各自でマーカー（粘着テープ、2カ所以内）を助走路内に使用することができる。使用したマーカーは競技終了後、役員の指示があった後、各自で片付けること。
- ③棒高跳の選手は、競技開始前に、自分の希望する支柱の移動位置を跳躍審判員に申告すること。その後位置を変更したい場合は、試技開始前までに、跳躍審判員に申告すること。これを怠った場合は、位置変更をセットする時間も試技制限時間に含まれる。
- ④三段跳の踏切板は、砂場から男子12m, 女子10mの位置に設置する。
- ⑤競技前に行う公式練習は競技役員の指示によって行う。  
（競技の進行状況によっては、変更する場合がある）
- ⑥「コーチングエリア」は設置しない。選手への助言等は競技進行に支障のない場所から行う事。競技者が直接手に取って映像等を確認することは認めるが、機器等の持ち込みや持ち出しは認めず、その場で確認すること。また機器は手渡しのみ認め、投げ渡し等は認めない。

### (3) リレー競技について

- ①リレーオーダーは、各組の招集完了時刻1時間前までに、招集所に用意してある所定の用紙に記入し、招集所の競技者係に提出する。
- ②リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいても本競技会のリレーまたは他の種目にエントリーしている競技者であれば出場することができる。ただし、どのラウンドにおいても出場するメンバーのうち少なくとも2人は当該リレー種目にエントリーした競技者でなければならない。予選に出場した競技者は、その後の決勝について、2人以内に限り、他の競技者と交代することができる。この規則に従わなければ、チームは失格となる。
- ③競技者は、大きさが最大50mm×400mmの恒久的なマーキングと混同しないようなはっきりした色の粘着テープをマーカーとして1カ所、自らのレーンに貼ることができる。それ以外のマーカーは使用できない。競技後は、前走者が自分のレーンに使用したマーカーを剥がすようにすること。
- ④リレーに出場するチームは同一デザインのユニフォームで出場すること。形状の違うものについては、カラー等デザインが酷似している場合は認めるものとする。

### (4) 混成競技について

- ①混成選手控え場所は設置しない。
  - ②最終種目については、順位を示すアスリートビブス（ナンバーカード）を1枚配布し、それを背部に取り付け競技を行う。
  - ③混成競技のトラック種目については、各レースの最初不正スタートは失格とならず、その後不正スタートを行った競技者は全て失格となる。（TR39.8.3）
- (5) 競技者は、携帯電話、ミュージックプレイヤー、および外部との通信機能のある腕時計等、競技規則TR6.3.2に関わる電子機器を所持・使用してはならない。また、競技場所を勝手に離れることはできない。
- (6) 競技規則または、競技注意事項に違反する行為がある場合、また競技者としてあるまじき行為がある場合は、警告（イエローカード）または除外（レッドカード）を通告されることがある。警告が2回累積されると、退場となり以降の競技に出場ができなくなる。

## 8 走高跳・棒高跳について

- (1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方、および練習の高さについては、優勝者が決定するまでは以下の通りとする。ただし、天候等の状況により、審判長の判断で変更することがある。

| 種目  | 種別 | 練習        | バーの上げ方                          |
|-----|----|-----------|---------------------------------|
| 走高跳 | 男子 | 1m70/1m90 | 1m75から1m90まで5cmずつ 1m90以降3cmずつ   |
|     | 女子 | 1m40/1m60 | 1m45から1m60まで5cmずつ 1m60以降3cmずつ   |
| 棒高跳 | 男子 | 自己申告      | 3m61から4m01まで20cmずつ 4m01以降10cmずつ |
|     | 女子 | 自己申告      | 2m21から3m01まで20cmずつ 3m01以降10cmずつ |

### (2) 公式練習について

示した高さを選択し、2回行う事ができる。棒高跳については、事前に支柱の位置を申告しておくこと。走高跳は正規のバーで行う。棒高跳はゴムバーで行う。

## 9 競技用具について

- 競技に使用する用具については、棒高跳のポール以外、原則主催者が用意したものを使用しなければならない。なお、投擲の持ち込みについては、検査を受けて合格したものは許可する。
- 投擲の持ち込みを希望する場合は、競技開始90分前から60分前までに、技術総務に申し出て指示を受け検査を受けること。なお、検査に合格した際は、一括借り上げとし、他の競技者も共有できるものとする。またその際、破損等があった場合も、主催者側は一切の責任を負わない。返却については、競技役員の指示にて返却を行う。
- ハードルの規格については以下の通りとする。

| 種別     | 種目     | 高さ      | 1台目まで  | ハードル間 | 最終ハードル以降 |
|--------|--------|---------|--------|-------|----------|
| 男子     | 110mH  | 106.7cm | 13.72m | 9.14m | 14.02m   |
| 男子     | 400mH  | 91.4cm  | 45m    | 35m   | 40m      |
| 女子     | 100mH  | 83.8cm  | 13m    | 8.5m  | 10.5m    |
| 女子     | 400mH  | 76.2cm  | 45m    | 35m   | 40m      |
| 男子ジュニア | 110mJH | 99.1cm  | 13.72m | 9.14m | 14.02m   |
| 男子ジュニア | 300mH  | 91.4cm  | 45m    | 35m   | 10m      |
| 女子ジュニア | 100mYH | 76.2cm  | 13m    | 8.5m  | 10.5m    |
| 女子ジュニア | 300mH  | 76.2cm  | 45m    | 35m   | 10m      |

- 投擲の規格については以下の通りとする。

| 種別     | 砲丸     | 円盤      | ハンマー   |
|--------|--------|---------|--------|
| 男子     | 7.26kg | 2kg     | 7.26kg |
| 女子     | 4kg    | 1kg     | 4kg    |
| 男子ジュニア |        | B 1.5kg | A 6kg  |

## 10 競技用靴について

- スパイクピンの長さは、9mm以内とする。ただし、走高跳は12mm以内とする。
- 競技用靴の厚さについては、以下に示すものとし、WAシューズ規定を適用する。(TR5)  
ただし、ジュニア種目のフィールド競技用靴については、日本陸連の示す移行措置を適用し、現行販売されているフィールド競技用靴（スパイク・スローイングシューズ）については、靴底厚確認のための計測は行わない。規格外のアップシューズ等は許可しない。

| 種目                              | 靴の最大厚さ | 備考・要件  |
|---------------------------------|--------|--|
| フィールド種目（三段跳を除く）                 | 20mm   | 投擲を含む全フィールド競技（三段跳以外）。靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。 |
| 三段跳                             | 25mm   | 靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。                      |
| トラック種目<br>800m未満の種目、ハードル、リレーも含む | 20mm   | リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。                                   |
| トラック種目<br>800m以上の種目（競歩も含む）      | 25mm   |  |

## 11 抗議について

結果発表アナウンス後、結果に対する抗議は、競技規則(TR8.2)に定められた時間内（次ラウンドがある場合は、15分以内、それ以外は30分以内）に競技者自身、もしくはチームを公式に代表する指導者等から担当総務員を通じて、審判長に口頭になさなくてはならない。その後の審判長からの裁定に納得ができない場合は、預託金(1万円)を添えて、担当総務員を通じてジュリーに「抗議申立書」で申し出る。「抗議申立書」は担当総務員が準備する。

## 12 表彰について

- 各種目3位まに入賞した者に賞状を授与する。選手権優勝者には、選手権賞(楯)を授与する。
- 3位以内の入賞者は競技終了後、表彰エリアに集合する。
- 男女各1名に最優秀賞(玉川杯)を授与する。

## 13 その他

- 競技場の開門は5日は10:00とする。6日以降は7:30とする。係の指示に従い入場すること。
- 大会プログラムは競技場正面入り口内に販売する。
- 記録の証明を希望する場合は、受付に申し出ること。1部200円で発行する。
- 競技会の結果については、競技場正面入り口付近に掲示する。なお鹿児島陸協HPでも公開する。
- 競技場内に持ち込む衣類・バック等については広告規定を適用する。
- 更衣室の利用については、更衣のみとし、控え場所としての使用は認めない。また貴重品等の管理については、各自で責任をもって行う事。
- 事故発生については、応急処置を当協会医師・医務員が行うが、他の一切の責任は負わない。各自スポーツ安全保険に加入しておくこと。

- (8) メインスタンドへのテント設置はできない。バックスタンドは許可する。
- (9) メインスタンドの座席に物等を置いたりしての場所取り行為を禁止する。
- (10) 各自が出したゴミは必ず持ち帰ること。
- (11) 本大会の選手権種目で6位に入賞した選手，および出場規定の要件を満たした競技者は「九州陸上競技選手権大会」への出場資格がある。詳細は沖縄陸協ホームページにて確認すること。
- (12) 個人情報の取り扱いについて
  - ①大会プログラムに掲載する。
  - ②記録掲示板，ホームページに掲載する。
  - ③競技場内アナウンスに使用する。
  - ④競技結果等，報道機関，関係各所に提供する。
  - ⑤優勝記録や大会記録等，次年度以降もプログラム等に掲載する。
  - ⑥各報道機関・メディアに写真や映像が公開されることがある。